

# (ご参考) 長期経営ビジョン2030・中期経営計画2020 「Going Forward Beyond Borders」の概要

## ■ 2030年度に向けた事業ドメインと活動の方向性

エネルギーの全面自由化をはじめとした経営環境の劇的な変化を好機と捉え、「3つの超える」を実行し、時代を超えて選ばれ続ける革新的なエネルギー&サービスカンパニーを目指します。



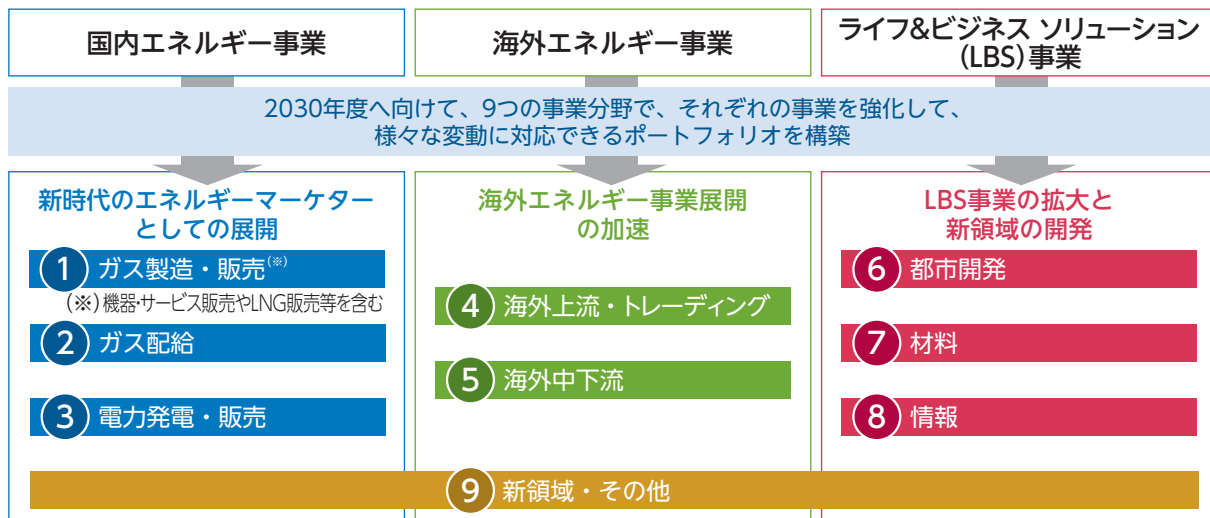
～時代を超えて選ばれ続ける  
革新的なエネルギー&サービスカンパニーへ～

お客さまの期待を超える	お客さまの期待を上回るサービス提供に常にチャレンジ
事業の枠を超える	社会・地域・お客さまの発展に貢献すべく、事業領域を拡大
企業の枠を超える	アライアンス・M&Aを積極的に推進し、国内外で広域に事業展開

## ■ 2030年度に目指す姿

国内事業に加え、海外事業を拡大することで、連結経常利益を2017年度の3倍程度とすることにチャレンジします。

### 大阪ガスグループを支える“3本の柱となる事業領域”



## ■ 中期経営計画2020での取り組み

<b>国内 エネルギー 事業<sup>(※)</sup></b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>ご家庭のお客さまへのソリューションのご提供</b> 商品・サービスの拡充やメンテナンスなどの接点機会での高品質なお客さま対応を徹底</li> <li>■ <b>業務用・工業用のお客さまへのソリューションのご提供</b> ガス・電力に加えてお客さまの多様なニーズに応えるサービスを総合的にご提供</li> <li>■ <b>競争力のある電源ポートフォリオの構築</b> 新規電源開発を進めつつ、市場からの調達や他社電源の活用を組み合わせ、需給バランスの変化に柔軟に対応できる体制を構築</li> <li>■ <b>導管ネットワーク事業者としての展開</b> 導管ネットワーク事業者として、安心・安全の提供を継続しつつ、中立性・透明性を確保しながらマーケットと連携した導管網の整備を実施</li> </ul>
<b>海外 エネルギー 事業</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>参画済み案件の立ち上げ・完遂に加え、経済成長が見込める地域で、既存アセットや当社独自のノウハウなどの強みが活かせる事業を中心に事業規模を拡大</b> 北米：フリーポートLNG基地の完工（2018年度運転開始）、IPP（卸電力）新規案件の獲得 等 東南アジア：新規LNG基地・IPP案件への参画、小売事業（燃料転換等）の拡大 等</li> </ul>
<b>LBS事業・ 新領域</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ <b>オーガニックグロース（内部成長）と成長投資により、LBS事業をエネルギー分野と並び立つ事業領域として確立、新領域に対するM&amp;Aを積極的に実施</b> 都市開発：関西圏に加え、首都圏での事業拡大 材料：活性炭のグローバルバリューチェーンを拡充、保存剤・ファイン材を新規・多用途展開 情報：新技術の導入（IoT活用等）によるグループシナジーの創出・収益の拡大 新領域：当社グループ事業の周辺分野における新規事業開発の推進</li> </ul>

(※) 2017年度第一四半期決算より、従来の「LPG・電力・その他エネルギー」セグメントに区分していた電力事業を独立させ、セグメント名称を「国内エネルギー・電力」とし、LPG販売事業、LNG販売事業、産業ガス販売事業等を「ガス」セグメントに集約し、セグメント名称を「国内エネルギー・ガス」に変更いたします。

## ■ 中期経営計画2020における経営指標

海外エネルギー事業やLBS事業の強化等により、収益性の向上に引き続き取り組みます。  
また、高い財務健全性を堅持します。

		2017年度計画	2020年度計画
収益性指標	ROA (総資産当期純利益率)	2.3%	3.5%
	ROE (自己資本当期純利益率)	4.5%	7.0%
	EBITDA <sup>(※1)</sup>	1,570億円	2,000億円
株主還元	配当性向	30%以上 <sup>(※2)</sup>	
健全性指標	D/E比率 <sup>(※3)</sup>	0.7程度	
	自己資本比率	50%程度	

(※1) EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + 持分法投資損益

(※2) 短期的な利益変動要因を除く

(※3) D (有利子負債)、E (自己資本)